

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／前期			
科 目 名	エステティック概論		担当教員	高橋 みさ子			
授業形態	講義		授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数 8
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標を達成するためにキャリアビジョンを計画しスキルアップを行う。 ・ コミュニケーション能力を高める。 ・ 自ら行動し、即戦力となる人材を目指すための自己啓発をする 							
授 業 計 画	1～4	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフキャリアのための自己啓発 キャリアビジョンを描くことを認識する。 エステティシャンとしての自覚・心構え 各種マナー（就労マナー・接客マナー・電話対応マナー） （挨拶・笑顔・姿勢・動向・配慮） 					
	5～7	<ul style="list-style-type: none"> ● 就職活動に向け目標を設定する。 自己表現をする。（相手に伝わるスピーチを考える） 就職活動に向けて目標とするサロンをリサーチする。 履歴書を作成する。 					
	8	前期試験					
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 50% ②前期試験 50%						
教科書・教材	プリント配布						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： A4サイズファイル（配布資料の保存） クリップボード							
その他(授業担当者のコメントなど) 実習服（白衣）での授業です。常に清潔感を意識すること。 時間厳守（授業5分前着席を守れるように心がけてください）							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／前期			
科 目 名	マネージメント・関連法規		担当教員	坂本 文音			
授業形態	講義	授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数	8
科目の到達目標及び授業内容 卒業後の就職に際し、エステティックサロン側の営業活動の根幹を理解する。 エステティックに関連する法律を理解すること。 マネジメントや意味・方法を理解する。 エステティックに関連する法律を理解する。							
授 業 計 画	1	法の基礎知識・消費者の保護・エステティック業界の動向					
	2	個人情報の取扱い責任および保護について・特定商取引に関する法律					
	3	広告および消費者への訴求に関する規制					
	4	カウンセリングの必要性					
	5	カウンセリングの為の基礎知識					
	6	エステティックサロン業務について					
	7	エステティックサロン運営に必要なもの					
	8	前期試験					
成績評価	1) 平常点 20% 2) 定期試験 80%						
教科書・教材	エステティックに関する関連法令 エステティックマネジメント						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど)							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科目名	解剖生理学		担当教員	高橋 みさ子			
授業形態	講義	授 業 時間数	80	単位数	5	授業回数	40
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ●誰もが心身ともに健やかに生きたいと願うが、自然に訪れる老化現象をはじめ、多様な理由から健康を損なったり、心身の不調を感じたりする。そのメカニズムを理解する。 ●健康であることを基本として人体のしくみを学ぶ。 ●生物体が生きて働く生理学と、その構造を調べる解剖学がある。この二つを結びつけ学ぶ。 							
授 業 計 画	1~3	解剖生理学 生理解剖学の基礎知識 恒常性の維持、代謝、反射、臓器の働きなど基礎的な項目を学ぶ					
	4~5	生体調節のしくみ 自律神経系のしくみやその作用について学ぶ					
	6~8	人体構成のしくみ 人体の形態的構成、物質的構成について学ぶ					
	9~13	骨格・筋肉系統について 骨・筋肉の種類とその名称と働きについて学ぶ					
	14~15	消化器系について 消化器系とその付属期間の働きについて学ぶ					
	16~18	呼吸器・循環器系について 呼吸器・循環器のしくみや体循環・肺循環について学ぶ					
	19~20	心臓の自動性と刺激伝導系、血液成分について学ぶ 泌尿器・生殖系について					
	21~22	腎臓の働きや生殖と遺伝について学ぶ 内分泌系について 内分泌・外分泌、ホルモンと分泌腺、女性らしさについて学ぶ					
	23.24	前期試験 (解剖学・生理学基礎)					
	25~29	人体のしくみを具体的に理解しさらにワークショップを実施する					
授 業 計 画	30~35	大脳生理学 大脳生理学の基礎知識 脳の構造とその働きについて学ぶ 神経系の構造とそのしくみについて学ぶ					
	35~38	人体生理学・大脳生理学のまとめ					
	39.40	後期試験 (解剖生理学・大脳生理学)					
成績評価	①平常点(出席率) 10% ②定期試験 90% *平常点は出席率100%で10%の評価とする。						
教科書・教材	エステティック 1. (青本) 新版 からだのしくみカラー辞典 配布プリント						
使用教具・器材	模造紙						
テキスト・参考文献:							
その他(授業担当者のコメントなど) 色鉛筆(12色以上) A4サイズのファイル							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	皮膚科学		担当教員	林 美喜			
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	96	単位数	6	授業回数 48
科目の到達目標及び授業内容 皮膚科学概論を理解する。皮膚の役目、生理作用について理解する。知覚神経について理解する。 肌質について理解する。肌トラブルと肌の構造について結び付けができるようになる。 肌トラブルに応じたトリートメントを考えられるようになる。 肌トラブルと、身体の仕組みや役割（解剖生理学）、化粧品学を併せて考えることができるようになる。 化粧品検定2級取得をし、INFA国際ライセンス資格取得のために確実な知識を習得する。 エステティシャンとしてお客様に適切なアドバイスができるようにコミュニケーション力をつける。							
授 業 計 画	1. 2	皮膚科学概論・皮膚の構造（皮膚図にて皮膚の各層、名称を覚える）					
	3	皮膚各層の働きや特徴を理解する					
	4. 5	皮膚の生理作用（角化・保護・分泌・表現・呼吸他）					
	6. 7. 8	皮膚の生理作用（知覚・抗体産生・ビタミンD形成・体温調節他）					
	9. 10	皮膚の生理作用まとめ・確認テスト					
	11. 12	肌質（肌タイプ）・素肌美の条件を理解することで肌トラブルの基礎を学ぶ					
	13. 14	皮膚トラブル（老化・血管）					
	15. 16. 17	皮膚トラブル（ニキビ）					
	18. 19	皮膚トラブル（色素）					
	20. 21	皮膚トラブル（シミ・くすみ・クマ）・紫外線について					
	22. 23	各皮膚トラブルの原因と対策の理解を深める					
	24	前期試験					
	25. 26	前期試験回答・復習・まとめ					
	27. 28	肌別に応じたカウンセリング（サロントリートメント、ホームケア、アドバイス）					
	29. 30	カウンセリング（肌診断・トーク力）					
	31	日本化粧品検定模試					
	32	日本化粧品検定対策					
	33. 34	総合的な理解（肌の状態を理解し状況に応じた対応をするための触診、視診、知識と思考力をつける）					
	35. 36	お客様との対応や国際試験のための口頭試問対策（状況を把握し、的確に表現・伝達する力をつける）					
	37. 38	総合的な理解・まとめ①					
39. 40	総合的な理解・まとめ②						
41. 42. 43	総合的な理解・まとめ③						
44. 45	総合的な理解・まとめ④						
46. 47	総合的な理解・まとめ⑤						
48	後期試験						
成績評価	①平常点（出席率10%・授業態度や意欲10%）20% ②定期試験（前期40%・後期40%）80% ＊全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる						
教科書・教材	・テキスト ・配布プリント ・化粧品検定1. 2. 3級対策テキスト ・からだのしくみ事典						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： 実技と並行して皮膚のことを学ぶ為、授業内容によっては、フェイシャルやボディを行うこともある。							
その他(授業担当者のコメントなど) 配布されたプリントを整理整頓し、わからないことはそのままにせず、自主的に調べ、質問を繰り返し行い、会話ができるようになる努力をしてください。接客業ですから、対話することを常に意識し、態度、声のトーン、表情、仕草など多くのことに気付けるようにしましょう。日常の自分自身に変化がある学びにしてください。							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年				
科 目 名	栄養学		担当教員	新原 涼子				
授業形態	講義		授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容								
<p>栄養学の基礎知識として、5大栄養素について学ぶ。 エネルギー産生の栄養素、身体の調整素、構成素としての栄養素について学ぶ。 健康や美の土台は食べ物にあるということを理解し、肌や身体との関りに関心を持つ。</p>								
授 業 計 画	1	・テキスト序章 健康・栄養新事情						P5～P130
		・テキスト第1章 栄養学入門						
		栄養学を学ぶ目的について理解させる						
	2, 3	・テキスト第4章 栄養素早わかり						P62～P67
		炭水化物について						
		(糖質・食物繊維について)						
		まとめテスト						
	4	脂質について						P76～P75
		まとめテスト						
	5	たんぱく質について						P76～P79
		まとめテスト						
	6, 7	ビタミン・無機質について						P80～P129
		まとめテスト						
	8	・前期試験						
	9, 10	・テキスト第2章 活動とエネルギー						P31～P40
		・テキスト第3章 年代別栄養						P41～P60
	エネルギー産生を行う栄養素について							
	ライフサイクルに合わせた栄養の摂り方							
	まとめテスト							
11	・テキスト第5章 機能性成分						P131～P148	
	健康を守る注目の食品成分について							
12	・テキスト第6章 代謝のしくみ I						P153～P165	
	まとめテスト						P166～P172	
13	・テキスト第6章 代謝のしくみ II						P166～P172	
	咀嚼、消化、吸収について							
	まとめテスト							
14	・テキスト第7章 症状別栄養						P174～P235	
	食べ物と病気の関係について							
15	・ 症状(お悩み) に合わせたメニュー作り							
	グループワーク・発表							
16	・後期試験							
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲)		20%	②定期試験		80%		
教科書・教材	栄養の基本がわかる図解辞典 プリント配布							
使用教具・器材	プロジェクター							
テキスト・参考文献:								
その他(授業担当者のコメントなど)								
<p>「身体は食べたものからしか作られない」という言葉の意味を深く理解しましょう。 積極的に学んだ知識を実践し、内面からの美を意識しましょう。 エステティシャンを目指すひととして、生活習慣と美容の関係について興味や関心を持ちましょう。</p>								

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	1年次／通年			
科 目 名	化粧品学	担当教員	高橋 みさ子			
授業形態	講義	授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> 化粧品上の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、そして化粧品の目的と機能、使用される主な原料などを学び、エステティシャンとしての必須知識を習得する。 自分の言葉で適切に説明ができるようにする。 						
授 業 計 画	1～4	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品の必要性を学ぶ 化粧品概論（薬事法・化粧品の分類・目的・取り扱い上の注意点） 基礎化粧品（洗顔料・化粧水・クリーム類・賦活化粧品・サンケア科） <p style="text-align: center;">検定対策テキスト美容知識</p>				
	5～6	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品の原料を学ぶ <p>基材原料（水性原料・油性原料・界面活性剤・保湿剤・高分子化合物・色材原料・香料）</p> <ul style="list-style-type: none"> 化粧品に用いられる薬剤とその働き <p>（紫外線防止剤・酸化防止剤・防腐剤・殺菌剤・美白剤・抗炎症剤・鎮静剤・ビタミン剤）</p> <ul style="list-style-type: none"> 成分表作成（肌質別） <p>（化粧品検定対策教本 1級参照）</p>				
	7～8	<ul style="list-style-type: none"> 教材の成分や特徴を学ぶ 				
	9	<ul style="list-style-type: none"> 前期試験 				
	10～12	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品を肌別仕様に分析する <p style="text-align: center;">グループでリサーチし発表する</p> <p style="text-align: center;">検定対策テキスト美容知識参考</p>				
	13～15	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚トラブルに対する適切なケアをするための化粧品の成分・使用目的を考えることを学ぶ 				
	16	<ul style="list-style-type: none"> 後期試験 				
	成績評価	①平常点(出席率) 10% ②定期試験 90% ＊平常点は出席率100%で10%の評価とする。				
教科書・教材	エステティック II（赤本）、化粧品検定教本1. 2. 3級 プリント配布					
使用教具・器材						
テキスト・参考文献： A4クリアファイル（配布資料の保存） 模造紙、色紙、風船、ボール等の使用有。						
その他(授業担当者のコメントなど)						

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	フェイシャル		担当教員	鶴 舞子 (美容業界勤務時にフェイシャル実務経験)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	192	単位数	6	授業回数 96
科目の到達目標及び授業内容 肌診断後、その肌に応じた (ハンド・美容機器を含めた) トリートメントを組み立て、時間内に施術が出来るようになる。 マッサージの六技法や、マッサージの目的、トリートメントの目的を理解し、知識と技術をマスターする。 施術工程の目的に併せた化粧品を選択し、知識を技術に反映させることができるようになる。 心身の状態が肌に関係に深いことを他教科で学んだ上で、相手を思いやる気持ちを掌で伝えるエステティシャンとして必要なスキルを身につける。							
授 業 計 画	1-3	教材配布・糸付け・使い方説明					
	4-6	実習室備品等の説明・機器の使用方法や注意点・実習準備について					
	7-9	実習室備品等の説明・機器の使用方法や注意点・実習準備について					◆ベッド誘導・ターバン
	10-12	ベッド誘導・ターバン					
	13-15	マッサージの目的や六技法・技術ポイント等					◆人体の基礎知識
	16-18	マッサージデコルテ①					
	19-21	マッサージデコルテ②					
	22-24	マッサージフェイシャル①					
	25-27	マッサージフェイシャル②					
	28-30	マッサージフェイシャル③					
	31-33	マッサージフェイシャル④					
	34-36	マッサージ確認テスト					
	37-39	クレンジング手順 (ポイントメイク落とし・デコルテ・フェイシャル)					
	40-42	トレーニング					
	43-45	トレーニング					
	46-48	トレーニング					
	49-51	前期試験					
	52-54	吸引					*肌診断
	55-57	トレーニング					
	58-60	トレーニング					
61-63	パック						
64-66	トレーニング						
67-69	トレーニング						
70-72	美容機器取り扱いについて						
73-75	トレーニング						
76-78	トレーニング						
79-81	肌質に合わせたトリートメント						
82-84	肌質に合わせたトリートメント						
85-87	肌質に合わせたトリートメント						
88-90	トレーニング						
91-93	トレーニング						
94-96	後期試験						
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲)10% ②前期試験40%・後期試験40% ③確認テスト10% *全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる						
教科書・教材	テキストⅠ・Ⅱ ファイル1冊(プリント配布)・メモ帳						
使用教具・器材	フェイシャル機器(吸引・電気導入・ウッドランプ・スチーム)						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 挨拶をする・時間を守る・忘れ物をしない。 理論の上に実技を行える人になること。 常に向上心を持って、時間を大切に取り組みましょう！							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科目名	ボディ		担当教員	鶴 舞子 (美容業界勤務時にボディ実務経験)			
授業形態	講義・実習		授業時間数	160	単位数	5	授業回数 80
科目の到達目標及び授業内容 身体の仕組み、働きや作用を理解し、部位別の目的（リラクゼーション・プロポーション）に応じたケアを学ぶ。 各マッサージの手技（六技法）と目的を理解する。 美容機器の使用目的、注意点、禁忌事項を理解する。							
授 業 計 画	1-2	ボディ理論（解剖生理学の理解、六技法、ボディマッサージの必要性や目的について）					
	3-5	ボディ準備品、ベッド誘導、実技中のタオル操作、ワゴン操作等を理解する					
	6-8	背面下肢のマッサージ①					
	9-11	背面下肢のマッサージ②					
	12-14	臀部・背中のマッサージ①					
	15-17	臀部・背中のマッサージ②					
	18-19	背中のマッサージ①					
	20-22	背中のマッサージ②					
	23-25	トレーニング					
	26-28	確認テスト（背面下肢・臀部・背中）					
	29-34	機器の使い方（低周波・G5）①② 使用目的・禁忌事項					
	35-37	前面下肢のマッサージ					
	38-40	腹部・胸部のマッサージ					
	41-43	上肢					
	44-46	確認テスト（前面下肢・腹部・胸部・上肢）					
	47-49	トレーニング					
	50-55	フットマッサージ					
	56-64	トレーニング					
	65-70	機器を使用したトリートメント（低周波・G5）					
71-76	トレーニング						
77	後期試験（筆記）						
78-80	後期試験（実技）						
成績評価	①平常点(出席・準備品・授業態度・確認テスト) 20% ②後期試験 理論20% 実技60% *全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる						
教科書・教材	テキストⅠ・Ⅱ ファイル1冊（プリント配布）						
使用教具・器材	低周波・G5						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 挨拶をする・時間を守る・忘れ物をしない。 理論の上に実技を行える人になること。 常に向上心を持って、時間を大切に取組みましょう！							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年				
科目名	メイクアップ		担当教員	斉藤 晴美 (美容業界にてメイクアップ実務現役活動中)				
授業形態	講義・実習		授業時間数	96	単位数	3	授業回数	48
科目の到達目標及び授業内容 メイクアップの基礎知識・基礎技術を習得し、顔を的確に観ることが出来るようになる。 また、TPOに合わせた応用メイク、個性を活かしたメイクアップとバリエーションを広げ、メイクアップの総合技術を習得する。								
授 業 計 画	4/20	1. 2	教材配布・ガイダンス・テーブルセッティング・モデル (ウイッグ) セッティング・基本スタンス・体重移動					
	4/26	3. 4	ベーシックメイクアップ①相モデル実習					
	5/18	5. 6	ベーシックメイクアップ②相モデル実習					
	5/24	7. 8	ベーシックメイクアップ③相モデル実習					
	6/2	9. 1	ベーシックメイクアップ④相モデル実習					
	6/15	11. 12	ベーシックメイクアップ⑤相モデル実習					
	7/12	13. 14	ベーシックメイクアップ⑥相モデル実習					
	7/20	15. 16	ベーシックメイクアップ⑦相モデル実習					
	8/31	17. 18	ベーシックメイクアップ⑧相モデル実習					
	9/15	19. 20. 21	前期実技試験					
	10/5	22. 23	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ①					
	10/24	24. 25	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ②					
	11/2	26. 27	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ③					
	11/9	28. 29	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ④					
	11/15	30. 31	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ⑤					
	11/22	32. 33	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ⑥					
	12/7	34. 35	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ⑦					
	12/14	36. 37	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ⑧					
12/19	38. 39	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ⑨						
1/11	40. 41	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ⑩						
2/13	42. 43	総復習						
3/14	46. 47. 48	後期実技試験						
成績評価	1) 平常点 50% 2) 定期試験 50%							
教科書・教材	教科書・メイク教材一式・スキンケア用品・その他 (ウイッグ・ヘアバンド・タオル・綿棒・ティッシュペーパー・コットン類・トレー類・色鉛筆・スケッチブック・デッサン用鉛筆)							
使用教具・器材								
テキスト・参考文献:								
その他(授業担当者のコメントなど) まつ毛に付帯的な装飾 (エクステ、パーマ) 等は禁止。(授業の進行に支障がある為。特に前期) 毎回メイク実技を行いますのでメイク道具類の忘れ物がないようにしてください。(道具の貸し借り不可) 特にメイクブラシやスポンジ、パフ類は洗浄、消毒したものを持参し、使いまわしは絶対にしないようにしてください。(皮膚感染症の観点から) メイク道具を忘れた場合は実習見学となります。ユニフォームの着用、適切な身だしなみ、道具類の準備は授業開始前に行っておくこと。 学校配布教材以外のメイク道具は使用禁止。皮膚疾患等でメイクモデルが出来ない場合は医師の診断書等の事前提出をしてください。								

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	1年次/通年				
科目名	ネイル	担当教員	宮永 千春 (美容業界にてネイル実務現役活動中)				
授業形態	講義・実習	授業時間数	96	単位数	3	授業回数	48
科目の到達目標及び授業内容 ネイルケア、ポリッシュカラー、アートの基礎知識と技術を学び、JNEC 3級試験とINFA国際ライセンスの資格取得を目指す。資格取得と同時にサロンワークに必要な接客マナー、身だしなみ、器具の衛生管理やサロン内の環境を整える大切さを学び、お客様が心地良く感じられる手指や腕の支え方、声掛け、誘導の仕方等の所作も磨く。 JNECネイリスト技能検定試験 3級 受験予定日 2023年10月22日 (日曜日)							
授 業 計 画	1～3	教材説明 (使用方法と取扱注意点)、ネイルケア基礎理論、テーブルセッティング、手指の支え方					
	4～6	テーブルセッティング、器具&手指消毒、カウンセリング、ファイリング (タイプ別カットスタイル)、パフイング ※カットスタイル別ファイリングの課題					
	7～9	ファイリング復習 (ラウンド)、キューティクルクリーン ※カットスタイル別課題 提出&チェック					
	10～11	カラーリング (ベース、トップコートの必要性)、ボトルクリーニング、ポリッシュオフ ※カットスタイル別課題 再提出&チェック					
	12～14	フラットアート (フラワー、葉、ドット等) & ストーンアート アクリル絵の具の特性、ブラシ、ピンセットの使用法 ※カットスタイル別 (前回) 課題のチェック/次回課題 3級指定フラットアートの課題					
	15～17	ネイルケア～カラーリング～アート (3級試験の流れ) 通し練習 ※フラットアート課題 提出&チェック					
	18～19	フラットアート (フレンチ、マーブル、スポンジアート等) ※フラットアート課題 提出&チェック					
	20～22	ネイルケア～カラーリング～アート 70分間タイムアタック ※フラットアート課題 提出&チェック					
	23～25	ネイルケア～カラーリング～アート 70分間タイムアタック ※フラットアート課題 提出&チェック					
	26～28	ネイルケア～カラーリング～アート 70分間タイムアタック ※フラットアート課題 提出&チェック					
	29	前期筆記試験					
	30～32	前期実技試験 フラットアート試験課題提出					
	33～35	ネイルケア～カラーリング～アート 70分間タイムアタック ※フラットアート課題チェック 3級受験対策 ※検定受験前道具チェック					
	36～38	INFA試験対策 後期試験実技課題 (アートチップ作品) について					
	39～41	INFA試験対策 後期試験実技課題 アートチップ試作品提出&チェック					
	42～44	INFA試験対策 後期試験実技課題 アートチップ試作品提出&チェック					
	45	後期筆記試験					
	46～48	後期実技試験 課題提出 (アートチップ)					
成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験 (筆記 40% 実技 40%) 3) 課題・卒業制作 10%						
教科書・教材	JNAテクニカルシステムベーシック、ネイルケア用具一式、ケアに必要なアルコール、コットン、ペーパー類 共用で使用するポリッシュ類、筆記小テストプリント配布						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献:	必要に応じて筆記試験対策としての小テストを行います。出題はJNECの筆記試験の出題傾向を参考に作成します。						
その他(授業担当者のコメントなど)	授業に必要な道具やテキスト等は前日までに各自で確認をして準備してください。 実技は基本的に相モデルで行います。お互いに配慮のある姿勢で受講するようお願いいたします。 作品等の課題は作成期間に余裕を持って仕上げるよう心がけましょう。(前日仕上げは美しく仕上がらないため) 使用した道具やテーブル回りは、毎回授業の終わりに必ずクリーンして清潔に保ち大切に保管して下さい。						

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年				
科目名	アロマセラピー		担当教員	斉藤 晴美 (美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中)				
授業形態	講義・実習		授業時間数	64	単位数	2	授業回数	32
科目の到達目標及び授業内容 アロマセラピーとは・精油（エッセンシャルオイル）の安全な使用方法・プロフィール等、芳香療法を多方面から学ぶ。 原材料・歴史や健康学等の知識を深め、アロマセラピー検定1級取得をねらう（任意） ※アロマ環境協会 アロマセラピー検定試験時期 11月上旬								
授 業 計 画	4/20	1	テキスト・教材配布・ガイダンス・アロマセラピー概論					
	4/26	2	精油プロフィール①シソ科・理論					
	4/27	3	精油プロフィール②ミカン科・理論					
	5/11	4	精油プロフィール③フトモモ科・理論					
	5/18	5	精油プロフィール④バラ科・理論					
	5/24	6	精油プロフィール⑤カンラン科・理論					
	6/2	7	精油プロフィール⑥ヒノキ科・理論					
	6/15	8	精油プロフィール⑦キク科・理論					
	6/22	9	精油プロフィール⑧イネ科・理論					
	6/23	10	精油プロフィール⑨フウソウ科・理論					
	7/12	11	精油プロフィール⑩バンレイシ科・理論					
	7/20	12	精油プロフィール⑪ビャクダン科・理論					
	8/24	13	精油プロフィール⑫モクセイ科・理論					
	8/31	14	精油プロフィール⑬コショウ科・理論 ⑭エゴノキ科・理論					
	9/13	15	前期試験					
	10/4	16	理論まとめ・検定受験対策					
	10/5	17	理論まとめ・検定受験対策					
	10/10	18	理論まとめ・検定受験対策					
	10/17	19	理論まとめ・検定受験対策					
	10/24	20	理論まとめ・検定受験対策					
	11/2	21	理論まとめ・検定受験対策					
	11/9	22	アロマセラピー応用・実践①					
	11/15	23	アロマセラピー応用・実践②					
	11/22	24	アロマセラピー応用・実践③					
	12/7	25	アロマセラピー応用・実践④					
	12/13	26,27	アロマセラピー応用・実践⑤					
	12/14	28	アロマセラピー応用・実践⑦					
	1/11	29	アロマセラピー応用・実践⑧					
	2/13	30	アロマセラピー応用・実践⑨					
	2/22	31	総復習					
	3/12	32	後期試験					
	成績評価	1) 平常点 50 % 2) 定期試験 50 %						
教科書・教材	アロマセラピー検定公式テキスト その他プリント							
使用教具・器材	アロマセラピー配布教材							
テキスト・参考文献：								
その他(授業担当者のコメントなど) エステティシャンには欠かせない知識・技術のアロマセラピー（芳香療法）です。1年次には主に知識面を学習します。 知識の習得度を客観的に判断する為、アロマ環境協会主催のアロマセラピー検定1級の受験（11月）に合わせたスケジュールで進めていきます。 植物アレルギーや皮膚疾患等がある場合は事前に申し出てください。 授業開始前にユニフォーム着用の上、身だしなみ、準備等済ませておくようにしてください。衛生消毒には十分に留意し、道具の管理をお願いします。								

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年				
科 目 名	脱毛/フットケア(ペディキュア)		担当教員	鶴 舞子 (美容業界勤務時に脱毛実務経験)				
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数	32
科目の到達目標及び授業内容 毛の構造、毛の成長経過、毛の性質や部位別の毛の働きを理解する。 眉毛やうぶ毛の処理をすることによりメイクアップの仕上がりに変化があることを他教科と並行して修得する。 脱毛処置の技術（一時的脱毛、電流による脱毛処理）、脱毛後の肌のお手入れ、脱毛処理ができない肌状態、健康状態など、 脱毛に関する多方面から脱毛テクニックを修得する。 くるぶしから下のフットケア（ペディキュア含む）の技術を修得する。								
授 業 計 画	1	毛髪についての基礎知識						
	2-3	ワックス脱毛デモンストレーション/トレーニング① ・下肢 ・上肢 ・背面 ・腋						
	4-5	ワックス脱毛トレーニング②						
	6-8	フットケア理論（解剖生理学の理解・爪の病気・足のトラブル） フットケア・ペディキュアデモンストレーション/トレーニング						
	9-11	フットケア・ペディキュアトレーニング①						
	12-14	フットケア・ペディキュアトレーニング②						
	15	前期試験（筆記）						
	16-18	ワックス脱毛トレーニング③						
	19-21	ワックス脱毛トレーニング④						
	22-24	フットケア・ペディキュアトレーニング③						
	25-27	ワックス脱毛トレーニング⑤						
	28-29	フットケア・ペディキュアトレーニング④						
	30-32	後期試験（実技）						
	成績評価	① 平常点 10% ② 前期試験（筆記） 30% ③ 後期試験（実技） 60% *全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる						
教科書・教材	テキスト ファイル1冊（プリント配布）							
使用教具・器材	ビューティーフット・オイル・油性ワックス・その他							
テキスト・参考文献：								
その他(授業担当者のコメントなど) 挨拶をする・時間を守る・忘れ物をしない。 理論の上に実技を行える人になること。 常に向上心を持って、時間を大切に組みましよう！								

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科目名	造形と色彩		担当教員	柴田 知子			
授業形態	講義		授業時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ パーソナルカラー検定3級合格を目指す。 ・ 身の周りの色彩に興味を持ち、実践に役立つ基本的な色彩の知識や配色技法を身につける。 ・ 色彩を通し仕事や生活の幅を広げていけるようにする。 							
授 業 計 画	1～3	オリエンテーション 第1章 ◇色彩と文化（四季の自然を表す色～慣用色名などを学ぶ） ◇日本の色の歴史・・古来より美しい色彩、歴史とのかかわり ◇色と生活・・周りに取り巻く様々な色を見る ◇色の種類・・色名について理解する					
	4～6	第2章 色彩理論 色のしくみ～ 色に見えるメカニズムを知る ◇CUS表色系・・カラーアンダートーンシステムについて学ぶ ◇色相について 色調について（色相環・色調図作成）					
	7～9	第2章 色彩理論 色の三属性～色を表す物差しについて理解する ◇対比現象・・対比効果と同化効果について（プリント） ◇色の感情効果・・色のイメージや心理効果について					
	10	第2章 色彩理論 CUS配色 配色効果・配色演習（プリント）					
	11	前期試験					
	12	第3章 色彩とファッション～ブライダルと色彩について、服飾史の基礎知識 ・基本的な配色テクニック（プリント）					
	13	第4章 パーソナルカラー パーソナルカラー概論 アンダートーン配色とシーズンの特徴を知る					
	14	第4章 パーソナルカラー 肌のしくみ・皮膚の構造・髪の毛の科学・ヘアメイクについて					
	15,16	パーソナルカラーまとめ 検定対策・過去問題・回答解説					
成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験 90%						
教科書・教材	パーソナルカラー検定公式テキスト・カラーカードCUS157						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献:	パーソナルカラー過去問題集 color Ar reangement						
その他(授業担当者のコメントなど) 色の楽しさを知り、身近にある色に興味を持てるようになって欲しい。 又、基本的な知識を理解して検定3級を取得。							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	キャリア形成		担当教員	畑山 未来			
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	48	単位数	3	授業回数 24
科目の到達目標及び授業内容 「キャリア形成」とは人生・職業生活において、自らの価値や役割を見だし、人間的成長・自己実現を図ること 自立した社会人になることを目標に、働くことの意味を真に理解し、仕事をするために必要となる「考え方・行動・技術」 を身につけるため、3つの能力を習得する 1. ビジネスマナー（挨拶・お辞儀・敬語などの言葉遣い・電話応対・訪問・メール文書・手紙） 2. 会社組織のしくみと役割、仕事理解、論理的思考能力 3. 就職活動に必要なマインドと技術（履歴書作成、自己理解、自己PR力、面接マナー）							
授 業 計 画	1	オリエンテーション、自己紹介 キャリア形成・ビジネスマナー・社会人基礎力とは					
	2	キャリアプラン作成（1・5・10年後）：棚卸し、問題・課題・目標設定（現状とあるべき姿）					
	3	社会人とは「社会人と学生の違い」、会社組織のしくみと役割					
	4	挨拶とお辞儀、身だしなみと第一印象					
	5・6	言葉遣いの基本（敬語・クッション言葉・ビジネスに適した言葉遣い）					
	7	訪問のマナー・心得、席次（会議室・エレベーター）、ロールプレイ					
	8・9	電話のかけ方・受け方、ロールプレイ					
	10・11	メール文書・手紙の書き方（依頼文・お礼状・添え状）					
	12・13	論理的思考トレーニング（マインドマップ・ロジックツリー・各種フレームワーク） 「書く力」：文章の書き方・ルール					
	14	前期試験					
	15・16	履歴書・エントリーシートの書き方（基本・演習）					
	17・18・19	自己理解のための自己分析、自今分析から自己PRへの展開 自己紹介（演習）					
20・21	面接入退室マナー、ロールプレイ						
22・23・24	模擬面接 演習、フィードバック						
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 20% ②定期試験 80%						
教科書・教材	配付プリント						
使用教具・器材	パソコン、プロジェクター、スクリーン						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 「キャリア形成」で学ぶことは、学生から社会人となり、人生・職業生活を生きていくために必要なスキルです。 will（したいこと）・can（できること）・must（すべきこと）を自覚し、自己理解・仕事理解を深め、 目指すキャリアの道筋を具体化していきましょう。							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/後期			
科 目 名	福祉皮膚美容		担当教員	高橋 みさ子			
授業形態	講 義	授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 ●人と人が「ふれあう」ことをコミュニケーションの手法とし、老若男女あらゆる人々に「心の癒し」「ストレスの解消」「一人ではないことへの安心感」を与える事を学ぶ。 ●健康であることを基本として人体のしくみを学ぶ。 ●個々のQOLを高めるための福祉活動の在り方について学ぶ。							
授 業 計 画	1	福祉皮膚美容の倫理と緩和ケアを学ぶ					
	2～3	人体の基礎知識（基本的には高齢者） ○ 人体の老化による変化を知る ○ 心身活動に対する適応 ○ 老化の原因 ○ 皮膚のしくみ					
	4～5	アロマセラピー ○ アロマセラピーの目的 ○ アロマセラピーの人体への作用					
	6～7	ハンドケア ○ 福祉皮膚美容の手技を習得する ○ 一般的な手技と福祉皮膚美容士の施術の違いを習得する					
	8～9	フットケア ○ 足のむくみなどのケアを習得					
	10～11	爪のケアとカラーリング ○ 福祉活動における爪のケア ○ QOL活動の満足感を与える一助の技術を習得					
	12～15	表情筋トレーニングとセラピーメイク ○ 表情を豊かにするセラピーメイクを習得する ○ QOLを高め満足感を与える一助の技術を習得					
	16	「緩和ケアの意義」「福祉皮膚美容士の倫理」についてレポート					
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 50% ②課題レポート 50% ＊平常点は出席率100%で10%の評価とする。						
教科書・教材	福祉皮膚美容教本（No1～No7）						
使用教具・器材	タオル、ネイル道具、メイク道具、マッサージオイル（教材を使用）						
テキスト・参考文献：	新版 からだのしくみカラー辞典						
その他(授業担当者のコメントなど) 色鉛筆（12色以上） A4サイズ（30穴）のリングファイル A4クリアファイル（配布資料の保存） 模造紙、色紙、風船、ボール等の使用有							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／後期			
科 目 名	サロン実務		担当教員	新原 涼子（美容業界勤務時に実務経験）			
授業形態	講義 ・ 実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ サロンマナー・ビジネスマナーを身につける。 身だしなみ、敬語、接客用語、所作、電話応対、挨拶の仕方などを実践を通して学ぶ。 ・ サロンの環境づくりを学ぶ お客様の五感に響く快適な空間とは何かを考える。 ・ 履歴書を作成する。 サロン選びとその理由を伝えられる。自己の長所を明確に伝えることができる。 							
授 業 計 画	1, 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ サロンワークの目的と意義を明確にする。 エステティシャンとして「お客様のために」身につけることは何か。 清潔感のある身だしなみを徹底する。 挨拶のしかた（接客8大用語）・お辞儀の角度 					
	3, 4, 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ サロンワーク研修 マナー、接客用語、身だしなみの徹底 サロンワークの一連の流れを行う（笑顔、所作、マナー） 報連相の大切さ 					
	6, 7, 8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 履歴書を作成する。 自身の長所を考える。 学校で生活で頑張っている事、それがどう役に立つかを考える。 					
	9～14	※ サロン現場実習 平日 11:00～18:00（実質6時間） （10:00～17:00） 日報作成					
	15, 16	サロン現場実習振り返り レポート作成					
成績評価	① 平常点(出席) 40% ② レポート 20% ③ サロン評価 40%						
教科書・教材							
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 貴重な体験を通して、エステティシャンという職業を知り、今後の自身の方向性を考えてください。 社会人として基本的なマナーや常識を身につけていきましょう。 就職を視野に入れて行動するようにしましょう。							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	エステティック概論		担当教員	新原 涼子			
授業形態	講 義	授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数	8
科目の到達目標及び授業内容 最新の栄養学や美容法を学び、サロンワークに活かすことができる。 学んだ知識を積極的に実践し、自身の体験（エビデンス）を積みかさねる。 感性や教養を磨き、質の高いコミュニケーション力を身につける。 世界のエステティクを学び、幅広い視野を持ったエステティシャンを目指す。							
授 業 計 画	1	・インナービューティーⅠ 食物繊維（ダイエタリーファイバー）について 「食生活指針」とは 肥満のメカニズム、PFCバランス、GI値について					
	2	アンチエイジング・健康美をつくるための食べ物（フィトケミカル）					
	3	・インナービューティⅡ 「温活」と「腸活」について 冷えの原因や腸内環境の関係について（デトックス） エクササイズの実践					
	4	・ストレスマネジメント ストレスとは ストレスとホメオスタシス（自律神経、ホルモン、免疫）の関係について ストレスと皮膚、ストレス耐性について ストレスと上手に付き合う方法					
	5	・おもてなしとは サービスとおもてなしの違い マズローの欲求段階説 自分が受けたおもてなし・行ったおもてなし お客様が感動する接客とは					
	6	・肌悩みに合わせた食事や生活習慣のアドバイス					
	7	・身体悩みに合わせた食事や生活習慣のアドバイス					
	8	※各授業ごとに小テストあり					
	8	・前期試験					
成績評価	① 平常点(出席・授業態度・意欲) 40 % ② 定期試験 60 %						
教科書・教材	プリント配布						
使用教具・器材	プロジェクター						
テキスト・参考文献	栄養素図鑑（新星出版社）「体を温める健康法」（パワーブックス） 腸内リセットダイエット（マキノ出版）間欠的ファスティング（マキノ出版）						
その他(授業担当者のコメントなど) 幅広い知識と豊かな感受性をもって接客できるプロを目指してください。 お客様に関心・興味をもって接し、信頼されるエステティシャンを目指してください。							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	皮膚科学		担当教員	高橋 みさ子			
授業形態	講義		授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ●人体のしくみを理解し皮膚の状態からケアの方法を導き出すことを学ぶ。 ●皮膚トラブルの要因とその対処について必要なカウンセリングの方法を学ぶ。 ●「考察する」ことが顧客満足度を高めることを学習する。 ●エステティック専門職のコミュニケーション能力を高める。 							
授 業 計 画	1-2	体のしくみを復習 肌(体)心を結ぶ働きを学習する	1年生の復習 (テスト)				
	3-4	皮膚について ① 皮膚の役割 ② 肌(皮膚)を見る ③ 肌に表れる様々な因子について ④ 正しく見る視点	ワーキング式で実施 対話による理解力を高める コミュニケーション能力を高める				
	5-7	皮脳同根について (大脳生理学) ① 皮膚は心の表れである所以を学習する ② 皮膚感覚(五感)について ③ 三つの脳の働きについて	カウンセリング 3Rの法則を学ぶ				
	8-10	ホルモンと神経と皮膚の関係性について ① 体の調整役ホルモン ② 自律神経のリズム(ストレス)	カウンセリング 個々のトラブルを把握して問題 解決を考察する				
	11-13	肌質の分類 ① 乾燥肌の特徴 ② 脂性肌の特徴 ③ 肝斑(シミ) ④ しわ・たるみ	カウンセリング 皮膚の特徴・質感・顔色・肌年齢 を適切に分析する。				
	14-15	皮膚の障害(カウンセリング) ① 接触性皮膚炎 ② 老化	エステティシヤンの責任の下で 皮膚トラブルを考察する。				
	16	前期試験					
	成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲)50% ②前期試験50%					
教科書・教材	エステティック 1 . 日本化粧品検定対策教本(2冊) プリント配布						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献:	化粧品成分用語事典・コスメティックQ&A事典・美容皮膚科学事典						
その他(授業担当者のコメントなど)	A4クリアファイル(配布資料の保存)						

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科 目 名	アロマセラピー		担当教員	斉藤 晴美 (美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	96	単位数	3	授業回数 48
科目の到達目標及び授業内容 アロマセラピーの基本的体系をはじめ、目的とその必要性、ワンランク上の専門知識と技術の習得を図り、サロンワークに役立つスキルを得る。また、パーツトリートメントとしてもニーズの高いフットやハンドトリートメントを行う上で不可欠なフレクソロジー（反射区療法）、トータルトリートメントとしてリンパドレナージュと一般的なエステティックトリートメントとの違いについての理論を学び、技術の習得も目指す。							
授 業 計 画 画	4/13	①②③教材配布・オリエンテーション アロマオイルを使った反射区（療法）(1)フット・ハンド・その他					
	4/19	④⑤アロマオイルを使った反射区（療法）(2) フット・ハンド・その他					
	4/27	⑥⑦アロマオイルを使った反射区（療法）(3) フット・ハンド・その他					
	5/11	⑧⑨アロマオイルを使用したボディトリートメント ※リンパドレナージュ①					
	5/19	⑩⑪⑫アロマオイルを使用したボディトリートメント ※リンパドレナージュ②					
	5/25	⑬⑭⑮アロマオイルを使用したボディトリートメント ※リンパドレナージュ③					
	6/16	⑯⑰⑱アロマオイルを使用したボディトリートメント ※リンパドレナージュ④					
	6/23	⑲⑳アロマオイルを使用したボディトリートメント ※リンパドレナージュ⑤					
	6/29	㉑㉒㉓アロマオイルを使用したボディトリートメント ※リンパドレナージュ⑥					
	6/30	㉔㉕㉖アロマオイルを使用したボディトリートメント ※リンパドレナージュ⑦					
	7/7	㉗㉘㉙アロマオイルを使用したボディトリートメント ※リンパドレナージュ⑧					
	8/24	㉚㉛アロマオイルを使用したボディトリートメント ※リンパドレナージュ⑨					
	9/7	㉜㉝㉞前期まとめ					
	9/13	㉟前期筆記試験					
	10/10	㊱㊲体質別 施術①					
	10/17	㊳㊴体質別 施術②					
11/14	㊵㊶体質別 施術③						
12/12	㊷㊸体質別 施術④						
12/19	㊹復習						
1/16	㊺㊻㊼総まとめ						
1/25	㊽後期筆記試験						
成績評価	1) 平常点 50% 2) 定期試験 50%						
教科書・教材	アロマセラピー検定公式テキスト・教科書・その他プリント配布 タオル類・筆記用具・色鉛筆						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 毎回エステユニフォーム着用、適切な身だしなみで受講してください 植物アレルギー、皮膚疾患等がある場合は、早めにその旨申し出てください							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	エステティック応用		担当教員	新原 涼子（美容業界勤務時に実務経験）			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数 32
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・エステティシャンに必要な美容電気学を学ぶ。 ・エステ用機器の禁忌とその理由を学ぶ。 ・ボディ用機器の理論と正しい使用方法を学ぶ。 ・フェイシャル用機器の理論と正しい使用方法を学ぶ。 							
授 業 計 画 面	1, 2, 3	【フェイシャル機器】					
	4, 5	イオン導入の理論と実践（復習）					
	6, 7	イオン導入の実践と口頭試問					
	8, 9	イオン導入テスト・ウッドランプの実践					
	10, 11	エレクトロクレンジングと吸引（ディーブクレンジング）の理論と実践					
	12, 13	エレクトロクレンジングと吸引（ディーブクレンジング）の実践と口頭試問					
	14, 15	パターの理論と実践（リンパについて・顔とボディを行う）					
	16, 17	ディーブクレンジングとパターの実践と口頭試問					
	18, 19, 20	高周波機器・その他の機器について					
	21, 22	フェイシャル機器 総合テスト					
	23, 24, 25	【ボディ機器】					
	26, 27, 28	低周波機器の理論と実践（復習）					
	29	低周波機器をモデルに合わせてプログラミングする（応用）・その他の機器について					
	30, 31, 32	低周波機器の実践と口頭試問・バイブレーターの理論と実践（復習）					
		バイブレーターの実践と口頭試問					
		期末試験（フェイシャル機器とボディ機器の実践と筆記試験。口頭試問）					
成績評価	1) 平常点 10 % 2) 定期試験 実技 40 % 筆記 30 % 口頭試問 20 %						
教科書・教材	プリント配布						
使用教具・器材	フェイシャル機器 ボディ用機器						
テキスト・参考文献：	プリント配布						
その他(授業担当者のコメントなど) 電気学は難しいという概念をはらって、積極的に取り組んでください。機器を使用するサロンも多いので学校で学んでおくと将来的に大いに役に立ちます。それぞれの機器の正しい使い方を身につけて安全かつ効果的に活用できるようになりましょう。							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科 目 名	造形と色彩		担当教員	柴田 知子			
授業形態	講義		授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ パーソナルカラー検定2級合格を目指す (2級取得者は1級取得を目指す) ・ 色についての応用力を深め、色の知覚効果やCUSを用いた配色テクニックを学ぶ。 ・ パーソナルカラーとスタイリングの関係を学ぶ。 							
授 業 計 画 画	1.2	オリエンテーション	第1章 色彩と文化～染料と顔料、それにより出来る色の種類と色名を知る ヨーロッパの色の歴史(古代ギリシャから近世の色まで) 基本色彩語 歴史は各班にて時代ごとにプレゼンテーション				
	3.4	第2章 色彩理論～	色彩の基礎 混色・・減法混色、加法混色、中間混色についての原理 照明と色・・光源の種類、その用途、照明による色の見え方の違い 色の知覚効果・・物理的な側面、心理的な側面から変化する色の見え方 加齢による目の構造の変化、物の見え方				
	5.6	第2章 色彩理論～	基本的な配色テクニック (プリント) ・ 配色の構成法 ・ 色相配色と色調配色				
	7.8	第3章 CUS配色理論～	CUS配色調和論・・色調によってアンダートーンが変化すること (特に明度の変化により、アンダートーンが変化することを知る) (プリント)				
	9	第4章 色彩を活かす配色テクニック～	ファッション、ディスプレイ、インテリア ・ 色彩の配色テクニック ・ 色彩構成による演出 (プリント)				
	10.11	第5章 パーソナルカラー～	パーソナルカラーとスタイリング イメージワード・・各シーズンとの関連性を紐図ける				
	12.13	第5章 パーソナルカラー～	パーソナルカラーとスタイリング・シーン別のコーディネート ヘアカラー・ネイルカラー・ビジネスシーン・アウトドア パーティ・ブライダル				
	14	前期試験					
	15.16	パーソナルカラー検定対策	まとめ・過去問・解答・解説				
成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験 90%						
教科書・教材	パーソナルカラー検定2級公式テキスト(2級・1級合板) カラーカードCUSカード157						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献:	パーソナルカラー検定過去問題集 Color Arrangement						
その他(授業担当者のコメントなど)	より色彩の知識を理解して、検定2級に挑戦。						

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科目名	東洋医学		担当教員	星野 晶子			
授業形態	講義		授業時間数	64	単位数	4	授業回数 32
科目の到達目標及び授業内容 質の高いエステシャンになるにはプライマリケアを学ぶことが重要である。すなわち、皮膚、体にトラブル発生する前にそれを未然に防ぐためのケアが行えるよう、健康を保つための人体のバランスを調べ方を学ぶことが重要である。東洋医学でいかに人間がバランスをとることで健やかに生きることができるか、衣食住の環境を整えることが心身の健康維持につながるかを学び、身近にある食品、植物、薬品とのかかわり、東洋医学すなわち、中医学、漢方、アロマ、アーユルヴェーダなどの補完代替医療のつながりを総括的に学び、その活用法を身につける。							
授 業 計 画	1	東洋医学とは					
	2	中医学一陰陽説と五行説					
	3	中医学一漢方の基礎一気・血・水					
	4	食中毒や下痢、便秘など身近な病気と対処法（腸内フローラについて）					
	5	中医学一漢方の基礎一五臓六腑					
	6	消毒、殺菌その①					
	7	中医学一経絡について					
	8	殺菌消毒その②					
	9	中医学 - 病位の診断					
	10	熱中症					
	11	東洋医学一病位の活用法と経絡					
	12	プライマリエステティック正食法を中心に					
	13	アーユルヴェーダの起源					
	14	アーユルヴェーダー 3つエネルギー					
	15	アーユルヴェーダーからだのなりたち					
	16	アーユルヴェーダー病気の進行					
	17	身近な薬と薬の正しい使い方①					
	18	アーユルヴェーダ式食事法一食事とは					
	19	前期試験範囲の説明、レポート説明					
	20	アーユルヴェーダ式美容法一ハーブとアロマ					
	21	アーユルヴェーダ式セルフマッサージ					
	22	前期試験					
	23	試験解説・アーユルヴェーダ式セルフマッサージ					
	24	アーユルヴェーダ式セルフケア - 毎日の活動、心と感情					
	25	女性のホルモンバランスと更年期					
	26	女性特有の疾患					
	27	アーユルヴェーダとヨーガ					
	28	身近な薬と薬の正しい使い方③					
	29	アーユルヴェーダの治療法					
	30	身近な薬と薬の正しい使い方②					
	31	後期試験範囲の説明					
	32	後期試験					
成績評価	1) 平常点 20% 2) 定期試験 80%						
教科書・教材	配布プリント						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献:	これ1冊できちんとわかるアーユルヴェーダ						
その他(授業担当者のコメントなど)	東洋医学的な考え方からお客様の体に直接触れるエステシャンとして自身の健康を保つ方法を学び、お客様に的確なアドバイス、共感ができるようになるヒントになるような授業です。 平常点は、宿題の提出・内容・授業の出席・態度を考慮いたします。						

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／通年			
科 目 名	ボディワーク		担当教員	小柳 佐知子			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数 32
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・心身統一 ・自律神経を整え、心の健康を維持する ・ヨガ哲学から生活に生きるヨガを学ぶ ・ヨガを通して生活を豊かにする知識と技を学ぶ 							
授 業 計 画	1	自己紹介・授業の進め方・ヨガの呼吸について・呼吸法（腹式・胸式・鎖骨式）・坐法（リラックスヨガ）					
	2～4	呼吸法（腹式呼吸・完全呼吸）・坐法（リラックスヨガ） 2：ヨガとは 3：トレーニングの基礎理論 4：ヨガ哲学 ギーター					
	5～8	呼吸法（完全・片鼻クンバカ）・坐法（リラックスヨガ・太陽礼拝古典） 5：つぼ 6：トレーニングの基礎理論 7：ギーター 8：つぼ					
	9～12	呼吸法（完全・短い呼吸） ・坐法（姿勢改善ヨガ・太陽礼拝A） 9：トレーニングの基礎理論 10：ギーター 11：つぼ 12：トレーニングの基礎理論					
	13～16	呼吸法（完全・勝者の呼吸）・坐法（骨盤調整ヨガ・太陽礼拝A） 13：骨盤底筋群について 14：ギーター 15：つぼ 16：トレーニングの基礎理論					
	17～20	呼吸法（完全・輔の呼吸）・坐法（美脚ヨガ・太陽礼拝B・ペアヨガ） 17：質疑応答 18：ギーター 19：つぼ 20：トレーニングの基礎理論					
	21～24	呼吸法（完全）・坐法（ボディメイクヨガ・太陽礼拝B・ペアヨガ） 21：ギーター 22：つぼ 23：トレーニングの基礎理論 24：ギーター					
	25～28	呼吸法（完全）・坐法（ビンヤサフローヨガ・ペアヨガ） 25：つぼ 26：未来のヨガ 27：アーユルヴェーダとヨガ 28：つぼ					
	29～32	呼吸法（完全）・坐法（フリー） 29：整体 30：整体 31：質疑応答 32：総まとめ					
成績評価	平常点 100% 出席率40%・授業態度40%・準備10%・忘れ物10%						
教科書・教材							
使用教具・器材	マット・ブロック・ベルト・ラジカセ・お水						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 動きやすい服装（スカート不可能）と素足で行います。							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	キャリア形成		担当教員	畑山 未来			
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 「キャリア形成」とは人生・職業生活において、自らの価値や役割を見だし、人間的成長・自己実現を図ること 自立した社会人になることを目標に、働くことの意味を真に理解し、仕事をするために必要となる「考え方・行動・技術」 を身につけるため、3つの能力を習得する 1. 報告連絡相談・PDCAなどの基本的な仕事の進め方 2. コミュニケーションスキル「傾聴力・質問力・気づく力・観察力・自己表現」 3. ビジネスマナー実践力							
授 業 計 画	1	オリエンテーション、一年次復習 キャリア形成・ビジネスマナー・社会人基礎力とは					
	2	キャリアプラン作成（1・5・10年後）：棚卸し、問題・課題・目標設定（現状とあるべき姿）					
	3	仕事の進め方（PDCA）、QCD、成果物、優先順位					
	4・5	報告・連絡・相談の基本、応用					
	6・7・8	コミュニケーションスキルを磨く、傾聴トレーニング、ロールプレイ 「傾聴力・質問力・気づく力・観察力」「自己表現（アサーション）」					
	9	職業・仕事の知識と理解のためのワーク 社会人基礎力・エンployアビリティ（雇用され得る能力）					
	10・11	場面・パターン別 マナー実務演習					
	12	「話す力」：スピーチ・プレゼンテーション					
	13・14	原価管理の基礎（売上・原価・利益の関係）					
	15	キャリアプランの振り返り・評価 前期試験対策					
	16	前期試験					
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 20% ②定期試験 80%						
教科書・教材	配付プリント						
使用教具・器材	パソコン、プロジェクター、スクリーン						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 日々の考え方・行動が習慣を変え、人生を変えていきます。今まで学んだことを一つひとつ意識して行動に移すことで 習慣化され、目標が達成できるようになります。will（したいこと）・can（できること）・must（すべきこと）を 振り返り、一年次より成長した自分を実感してください。							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科目名	茶道		担当教員	関野 ちか			
授業形態	講義・実習		授業時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 日本の伝統文化である茶道を通して、立ち居振る舞いとおもてなしの心を会得する。 点前の作法から日常生活の向上と合理性を理解し、茶道を生活の中に生かすとともに礼儀を学ぶ。 客（もてなされる側）と亭主（もてなす側）が互いに相手を思って行動する。 浴衣を着ることで所作を身につけ、きれいに早く着ることができるようになる。							
授 業 計 画	1～2	茶道とは 古儀茶道敷内流について 茶席のマナー 浴衣着付け お辞儀の仕方（扇子の扱い方） 薄茶、お菓子のいただき方					
	3～4	立ち居振る舞い 道具について 割り稽古（ふくさ捌き） 薄茶、お菓子の運び方					
	5～6	割り稽古（茶碗、茶笥の扱い方、茶巾のたたみ方） 主菓子と干菓子 客と亭主					
	7	割り稽古（棗、茶杓、柄杓の扱い方）					
	8	客と亭主 1年生を招いて呈茶					
	9～14	風炉薄茶 運び点前 客と亭主					
	15	風炉薄茶 山里棚点前 客と亭主					
	16	まとめ 茶会（先生方及び1年生を招いて）					
成績評価	1) 平常点 50% 2) 実技テスト 50%						
教科書・教材	ふくさ・扇子・懐紙・菓子切り 浴衣一式・足袋または白色ソックス						
使用教具・器材	ふすま・たたみ・毛氈・電気ポット・延長コード 風炉釜・茶碗・茶杓・茶笥・棗・茶巾・柄杓・蓋置・建水・菓子器						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 授業の始めと終わりに畳をから拭きすること。 浴衣を着て授業をします。髪は夜会巻きまたはシニオン等、結んでまとめる。 欠席、忘れ物などは減点評価になります。							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/前期			
科 目 名	ヘアアレンジ		担当教員	原口 孝子 (美容業界勤務時にヘアアレンジ実務経験)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ エステティシャンとして自分の夜会巻きスタイルを習得する ・ 同じ髪型でもモデルが違くとアレンジが変わることを実感し、現場対応力や提案（アプローチ）の実践をする ・ 浴衣に合わせた髪型を意識したり、TPOに合わせた髪型を考えて作る ・ 一人で浴衣の着付けができるようにする ・ アイロンワークをできるようになる ・ 欠課が無いよう自己管理をする 							
授 業 計 画	1	浴衣用のヘアアレンジ ①	まとめ髪スタイル	着付けチェック ①			
	2	浴衣用のヘアアレンジ ②	まとめ髪スタイル	着付けチェック ②			
	3	お出かけスタイルを作ろう①すっきりアレンジ ストレートアイロン					
	4	浴衣用のヘアアレンジ ③	まとめ髪アレンジ				
	5	お出かけスタイルを作ろう②ふわふわアレンジ カールアイロン					
	6	浴衣用のヘアアレンジ ④	トップスタイル				
	7	浴衣用のヘアアレンジ ⑤	トップスタイル				
	8	お出かけのスタイルを作ろう③前髪アレンジ&アイロン					
	9	お出かけのスタイルを作ろう④ ボリュームスタイル					
	10	浴衣用のヘアアレンジ ⑥	ボリュームスタイル				
	11	お出かけのスタイルを作ろう⑤ まとめ髪スタイル					
	12	浴衣用のヘアアレンジ ⑦	フリーアレンジ				
	13	浴衣用のヘアアレンジ ⑧	フリーアレンジ				
	14	お出かけのスタイルを作ろう⑥ フリーアレンジ					
	15	お出かけのスタイルを作ろう⑦ フリーアレンジ					
	16	お出かけのスタイルを作ろう⑧ フリーアレンジ					
成績評価	1) 平常点 80 % (授業中のスタイル課題1回5点 + 着付けチェック1回5点) 2) レポート 20 % (企画書提出1回5点) 3) 夜会巻きチェック 10点						
教科書・教材							
使用教具・器材	カールアイロン、ストレートアイロン、タオル二枚						
テキスト・参考文献:							
その他(授業担当者のコメントなど) プリント管理のためのファイルを各自で用意 アイロンは私物使用になるため、各自で用意の事(授業内で説明あり)							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	福祉皮膚美容		担当教員	高橋 みさ子			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数 32
科目の到達目標及び授業内容 ●人と人が「ふれあう」ことをコミュニケーションの手法とし、老若男女あらゆる人々に「心の癒し」「ストレスの解消」「一人ではないことへの安心感」を与える事を学ぶ。 ●医療分野の中で美容技術を活かしコミュニケーションをとることで社会に貢献する活動を学ぶ。 ●福祉皮膚美容士ができるレクリエーション活動の基本パリエーションを企画し実行する。 ●美容技術を活かし社会福祉活動において幅広く貢献できる人材を目指す。							
授 業 計 画	1～3	1 社会福祉活動の意義 ① 現在の社会事情について考える。 ② 様々な問題について考察し実行する。 ③ 考えをまとめレポート提出	ワークショップ ★ 個々の意見が出せるようになること。 ★ 他者の考えを理解する能力を高めること。 ★ 地頭力を鍛える。 目的を考慮する能力を高める為の演習				
	4～9	2 人体生理学 ① 身体機能の老化の素因と予防方法を学ぶ ② 認知症の知識とケア（ヘッドマッサージ） ③ 学習したことをまとめて提出する					
	10～15	3 緩和ケアの意義について ① 病気にかからない予防方法を学ぶ ② 美容技術のケア理論 ③ レクリエーションを創作する ④ 緩和ケアを総括的にレポートして提出する					
	16～21	4 アロマセラピー実践 福祉色彩学					
	22～28	5 課外活動（ボランティア活動予定（3日間） 介護施設や地域貢献ボランティアなど 1施設ごとにレポート提出する 課外活動ができない場合は校内授業で実施	（スケジュールに合わせ適宜参加します）				
	29.30	2級認定試験対策					
	31.32	前期試験（福祉皮膚美容の課題についてレポート / 筆記試験）					
成績評価	① 平常点(出席・授業態度) 50% ② 定期試験 50%						
教科書・教材	福祉皮膚美容テキスト プリント配布						
使用教具・器材	実技教材（化粧品一式）タオル一式						
テキスト・参考文献： A4サイズファイル（配布資料の保存） クリップボード							
その他(授業担当者のコメントなど) 毎日の暮らしの中で感謝の気持ちを忘れず礼節をわきまえ凛とした態度で過ごしましょう。 人を敬い優しい心配りができる人間になりましょう。							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	2年次/後期			
科 目 名	サロン実務	担当教員	新原 涼子 (美容業界勤務時に実務経験)			
授業形態	講義・実習	授 業 時間数	288	単位数	9	授業回数 144
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ エステティシヤンの仕事に対する意識を高め。顧客心理を理解する。 ・ サロンワークに必要な、接客マナー、実践テクニック、営業力、コミュニケーション能力を身につける。 ・ 社会性を身につけ、働く意義を自覚させる。 ・ 考える能力を高め自己啓発を促進させる。 ・ 就業で体験した技術が役立つ人材になるようプロ意識を持たせる。 ・ チームワーク力を高める。 						
授 業 計 画	1~6	・ 【キャリアプランの考察】 業界の研究=様々なサロンやスパの形態と特徴を研究し自身の方向性を考える。				
	6~12	・ 【サロンワークで大切なこと】 ・ CS (顧客満足) とは何か=お客様に望まれるエステティシヤンとは何か。 ・ 利他の心=エステティシヤンとしてのおもてなしの心 (ホスピタリティ) とは何か。 ・ IDMAの法則 (購買心理) について ・ チームビルディング・報連相				
	13~33	・ 【ワークショップ】 エステティックサロン及び美容系サロンでの就労の心構え (身だしなみ・所作等) 各種マナー (就労マナー・接客マナー・電話対応マナー) サロンでの1日の流れ				
	34~138	・ サロン現場実習 平日・土日 11:00~18:00 (実質6時間) (10:00~17:00) 日報作成・レポート提出	●実習先は就職先により異なる。			
	139~144	・ サロン現場実習振り返り レポート作成 ・ 履歴書作成 ・ サロン現場実習 ・ 履歴書作成				
成績評価	① 平常点(出席・授業態度・意欲) 60% ② レポート 20% ③ サロン評価 20%					
教科書・教材	プリント配布					
使用教具・器材						
テキスト・参考文献:						
その他(授業担当者のコメントなど) 就職を見据えて、計画的に将来のエステティシヤン像を構築していきましょう。 サロンワークでは、気配りを忘れず、周りを見て行動することを心がけましょう。 「心、技、知」の揃ったプロを目指しましょう。						

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科目名	メイクアップ応用		担当教員	斉藤 晴美 (美容業界にてメイクアップ実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授業時間数	128	単位数	4	授業回数 64
科目の到達目標及び授業内容 1年次に習得したメイクアップ技術を更に進化させ、多様なバリエーション、TPOに合わせたメイクアップ、アーティスティックメイクアップ等の習得を図る。 ヘアメイクアップフォトコンテスト参加、作品制作、入賞をねらう							
授 業 計 画	4/14	1. 2. 3	教材配布・ガイダンス・TPO別、世代別サロンメイク				
	4/28	4. 5. 6	セレモニーメイクアップ				
	5/12	7. 8. 9	スチールメイク①				
	5/26	10. 11. 12	スチールメイク②				
	6/7	13. 14	撮影				
	6/21	15. 16	スチールメイク③				
	7/17	17. 18	スチールメイク④				
	7/14	19. 20. 21	スチールメイク⑤				
	7/21	22. 23. 24	スチールメイク⑥作品制作撮影				
	8/23	25. 26	スチールメイク⑦作品制作撮影				
	9/1	27. 28. 29	アドバタイジングデザインにおけるメイクアップ (媒体別) ①				
	9/8	30. 31. 32	アドバタイジングデザインにおけるメイクアップ (媒体別) ②				
	9/20	33. 34. 35	前期試験実技				
	10/4	36. 37	アドバタイジングデザインにおけるメイクアップ (媒体別) ③				
	10/11	38. 39. 40	ステージメイク①				
	10/18	41. 42. 43	ステージメイク②				
	11/7	44. 45. 46	ステージメイク③				
	11/21	47. 48. 49	アーティスティックメイク①				
12/5	50. 51. 52	アーティスティックメイク②					
12/20	53. 54. 55	アーティスティックメイク③					
1/10	56. 57. 58	アーティスティックメイク④					
1/24	59. 60. 61	総復習					
1/26	62. 63. 64	後期実技試験					
成績評価	1) 平常点 50% 2) 定期試験 50%						
教科書・教材	メイク道具一式・タオル類・デザイン帳・サインペン・色鉛筆・絵具類 ボディペインティング、作品制作を行う場合はガウン、エプロン持参						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 毎回実技を行いますのでメイク道具一式を必ず持参してください。忘れた場合は授業見学扱いとなります。作品制作は写真撮影、ヘアスタイリング、衣装や背景に使用する道具類も全て各自準備の上行きます。道具類の管理は各自の責任で行ってください。 毎回エステフォーム着用、適切な身だしなみで受講して下さい。							

2023年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科目名	ネイル応用		担当教員	宮永 千春 (美容業界にてネイル実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授業時間数	128	単位数	4	授業回数 64
科目の到達目標及び授業内容 1年次で学んだネイルケアの知識を活かし、筋肉、骨、神経、色彩学の知識を深めて、施術前のカウンセリング能力を高める。リペア、チップラップ、ジェルネイル、アクリリックネイルなどのエクステンション技術を学び、爪の整形やトラブルネイルにも対応できる技術力を身につける。 アートではエンボス、3Dアート、ミックスメディアアートを学び表現力を磨く。 JNEC 2級 (受験予定日2023年7月15日土曜日)、JNAジェル検定初級 (受験予定日2023年12月2日土曜日) 取得を目指す。							
授 業 計 画	1~3	生理解剖学 (骨格・関節・筋・腱・神経・循環)、色彩理論。JNEC 2級試験概要。リペア、チップ&ラップ デモ&実技 ※ネイルアート課題出題 (テーマJNEC 2級フラットアート)					
	4~6	JNEC 2級レベルトレーニング。ネイルケア、ファイリング (ラウンド)、カラーリング、ネイルアート、チップラップ ※ネイルアート課題提出&チェック					
	7~9	JNEC 2級対策 タイムアタック (90分) 筆記試験対策 小テスト ※ネイルアート課題提出&チェック					
	10~12	JNEC 2級対策 タイムアタック (90分) 筆記試験対策 小テスト ※ネイルアート課題提出&チェック					
	13.14	ネイルアート応用 エンボス・3Dアート・ミックスメディアアート ※ネイルアート課題提出&チェック 筆記試験対策課題 (次回提出)					
	15.16	JNEC 2級 前半試験内容 タイムアタック (35分) 筆記試験対策課題提出&採点/筆記試験対策課題 (次回提出)					
	17.18	JNEC 2級 後半試験内容 タイムアタック (55分) 筆記試験対策課題提出&採点/筆記試験対策課題 (次回提出)					
	19~21	JNEC 2級 前半&後半試験内容 タイムアタック (90分) 筆記試験対策課題提出&採点					
	22~24	ジェルネイル、アクリリックネイルの特性と基礎知識、アレルギーについて プレパレーション、ジェルフローター、ジェルオフ					
	25.26	ジェルカラーリング、ジェルアート (ビーコック)					
	27~29	プレパレーション、ジェルカラーリング、ジェルアート (ビーコック、マーブル、フレンチ、グラデーション等) ※筆記試験対策問題課題 (次回提出)					
	30~32	JNAジェル検定初級及び前期試験対策 タイムアタック (60分) 筆記試験対策課題提出&採点					
	33~35	前期試験					
	36.37	ジェルチップオーバーレイ、ジェルアート応用、トレーニングハンドの使用方法、オーダーチップ採寸、卒業制作について					
	38~40	JNAジェル検定試験対策 (トレーニングハンド) タイムアタック (60分) 筆記試験対策小テスト					
	41~43	JNAジェル検定試験対策 (トレーニングハンド) タイムアタック (60分) 筆記試験対策小テスト					
44~46	JNAジェル検定試験対策 (トレーニングハンド) タイムアタック (60分) 筆記試験対策小テスト						
47~49	JNAジェル検定試験対策 (トレーニングハンド) タイムアタック (60分) 筆記試験対策小テスト ※検定前教材チェック						
50~52	ジェル&アクリルスカルプチュア ペーパーフォーム装着、チップオーバーレイ						
53~55	ジェル&アクリルスカルプチュア 3ボール~1ボール ※卒業制作試作品提出&チェック						
56~58	ジェル&アクリルスカルプチュア デザインスカルプチュア ※卒業制作試作品提出&チェック						
59~61	後期試験対策 苦手部分克服 ※卒業制作試作品提出&チェック						
62~64	後期試験						
成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験 (筆記 40% 実技 40%) 3) 課題 10%						
教科書・教材	JNAテクニカルシステム (ベーシック、アドバンス、ジェルジェルネイル)						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献	JNAテクニカルシステム (ベーシック、アドバンス、ジェルジェルネイル)						
その他(授業担当者のコメントなど) ケア、デザイン共にプロとしての技量を求められる内容の授業になります。より複雑な内容の実習になりますので、毎回の授業後に各個人で復習をしてください。復習をして不明確な点は次回授業でディスカッション等を行い皆で解決してレベルアップにつなげていきましょう。 人工爪の技術では、衛生管理がより重要となります。道具のメンテナンス、ダストの除去、衛生用品の洗浄を徹底する。							